

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 （政策）	番号	7	名称	快適な生活を育むまち			
施策	番号	7	名称	緑豊かな憩いの場の整備			
主担当部	まちづくり部		主担当課	緑地景観課		部長名	橋本 清秀
関係部	魅力創造部		関係課	産業振興課			

2. 施策の基本方針（第3次総合計画の基本方針をもとに記入する）

この施策の目的	都市における緑のオープンスペースとしての公園・緑地の整備を進める。防災機能や多様な市民ニーズを踏まえ、憩いの場や健康増進、観光振興や歴史文化の学習の場、地域の活性化の場として活用するとともに既存公園の施設等のバリアフリー化や長寿命化による公園の再整備を行い、安全安心な公園を整備を目指す。また、地域住民参加による公園の維持管理・活用、緑化推進をすすめる。
---------	---

3. 施策の現状分析（第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する）

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
	市には、大和三山、参道の森、新沢千塚古墳群等、緑の自然環境が多くあるが、市民意識調査によると、都市公園の面積・数・広さ等に対する市民の満足度は低い。都市のオープンスペースとしての公園、緑地の整備を進めているが、その機能だけでなく、災害時の避難所や防災拠点等の機能を併せ持つことが求められている。	都市のオープンスペースとして、災害時の避難所や防災拠点等への対応、また、老朽化した公園施設の長寿命化や、バリアフリー対策等多様なニーズに応えられる施策が国により提案・実施されている。
これまでの成果	幅広い年齢層にも対応した安全で安心な公園整備を進めてきた。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	備考欄	
		実績	目標	実績	目標		
指標の推移	施策指標① （成果指標）	地域住民と維持管理協定を締結した公園数	173	180	188	188	
	施策指標② （成果指標）	市民1人当たりの都市公園等の面積（㎡）	8.5	9	8.9	9	
	施策指標③ （成果指標）						
	施策指標④ （成果指標）						
	施策指標⑤ （成果指標）						
コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出 （直接事業費）（a）		560,006	711,681	418,695	632,287	
	歳入 （b）	受益者負担額	0	0	3,000	0	
		受益者負担額以外の歳入（補助金等）	177,565	349,229	189,131	253,369	
	（a）－（b）＝一般財源		382,441	362,452	226,564	378,918	
	正職員	従事者数 （単位：人）	12.45	11.10	11.10	6.55	
		人件費（c）	71,052	63,348	64,524	38,075	
トータルコスト （a）＋（c）		631,058	775,029	483,219	670,362		

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の成果の達成度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の可能性はどうか	1	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	29年度は1人あたり都市公園等の面積は増加しなかったが、最終的な目標値に向け数値は順調に推移している。最終目標値の達成のためには新沢千塚古墳群公園及び植山古墳公園の事業の進捗状況による部分が大きく、事業が順調に進んでいる現在、施策成果向上の可能性は高い。				
	市政全般に対する貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	主要公園に対しての整備は進んでおり、満足度の向上に貢献しているといえる。また、今後は利用率が高く、身近な公園を市民ニーズに対応して改築・更新を図るとともに、市民との協働による公園の維持管理についても一層進めていきたい。				

6. 施策の課題

この施策の課題	各公園の規模、特色にあわせ、多機能に利用できる公園整備を推進しているが、公園整備に係る交付金内示率が低下しているため、事業の進捗率が低い。成果の達成には、交付金の充実が望まれる。また、公園、緑化推進に対する市民の満足度の向上を図っていくためには、自治会、NPO等との市民協働による維持管理、活用を充実させるためのソフト事業のよりいっそうの充実が望まれる。
---------	---

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	2	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	現在工事中の植山古墳公園、新沢千塚古墳群公園の整備をより一層進めていくとともに、新沢千塚古墳群公園内のふれあいの里を活用し、地元の活性化へ取り組む。また、老朽化が進む公園施設の長寿命化をはかるため、遊具の改築・更新を行う。さらに、市民との意見交換をはかり、公園の維持管理における市民協働の意識向上に努める。平成30年度に樫原運動公園サッカーグラウンド設営と、市内3公園の管理運営事業の設計委託業務を実施していく。			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	市民が親しめ、安全安心で防災性の高い都市公園の整備を進める。また、協働の考え方のもと、市民とともに、公園の適正な維持管理・運営を行っていけるよう取り組みを進め、あわせて、環境緑化の意識向上を図るものとする。供用中の都市公園については、憩いの場、スポーツ、レクリエーションの場だけでなく、観光、文化の場としての活用も目指していく。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

この施策に関する事務事業評価の内容(評価内容の転記)							施策評価			戦 略	大 綱
No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額		貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)				
1	産業振興課 ふれあいの里管理業務 (ソフト(任意))	地元で生産された農作物等を、新沢千塚古墳群公園内の施設ふれあいの里にて販売することで、檀原市民を中心に広く周辺市民に紹介し、地産地消と地元新沢地区の活性化に寄与している。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	A				
				9,360 (千円)							
2	緑地景観課 環境保全事業 (ソフト(任意))	飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等を実施する。また、檀原神宮参道沿いの植栽剪定や、草刈り等の取り組みを行っている参道の森環境美化協議会に交付金を交付し活動を支援する。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	B				
				3,143 (千円)							
3	緑地景観課 公園施設長寿命化・バ リアフリー化事業 (ハード)	公園施設長寿命化計画に基き、改善が必要となった遊具等の公園施設を、公園施設長寿命化対策支援事業の補助を得て順次、改築・更新を実施し、公園施設の長寿命化を図る。 また、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を利用し、公園施設のバリアフリー化の検討を行う。	1	継続する	b	継続する					
				1,581 (千円)							
4	緑地景観課 児童公園管理事業 (ソフト(義務))	市内248ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定を締結することで、日常の簡易な清掃・草引き等を地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。 平成30年度は市内3公園における、公園施設全体の有効活用やマーケットサウンディングによる民間活力の導入可能性を初めとした官民連携による管理運営手法・スキームの調査検討を行う。	2	現状のまま継続	a	拡大する					
				63,660 (千円)							
5	緑地景観課 植山古墳公園整備事 業 (ハード)	甘桜丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。 公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。 平成30年度6月に追加供用開始し、供用開始面積が15,972.12㎡になる。	1	継続する	b	継続する					
				17,851 (千円)							
6	緑地景観課 緑化推進啓発事業 (ソフト(任意))	地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しむよう取り組む。自治会や市民の要望に応えながら、協働による緑化を推進する。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける	C				
				145 (千円)							
7	緑地景観課 新沢千塚古墳群公園 整備事業 (ハード)	H29年度実施の主要事業 2号歩道橋整備工事、2号エレベータ棟及び立体駐車場新築工事、南群整備工事、公園追加区域設計業務委託、用地買収	4	完了する	b	継続する					
				151,655 (千円)							
8	緑地景観課 檀原運動公園整備事 業 (ハード)	檀原運動公園施設の経年劣化に伴い施設の更新が必要となっている。 ＜硬式野球場スコアボード更新＞ 平成29年度に実施 ＜多目的グラウンド整備＞平成31年度全国中学校体育大会 第50回全国中学校サッカー大会に向けた施設整備として、芝と水はけ状態の改善を行う。また、平成30年度に新たに芝生のサッカーコートを2面整備するための設計業務を行う。 ＜硬式野球場整備＞野球場利用者のための施設を改修する。	1	継続する	b	継続する					
				171,300 (千円)							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年 6月 6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト (任意)) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	ふれあいの里管理業務								
	担当部名	魅力創造部		担当課名	産業振興課		課長名	門長 克浩		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	新沢千塚古墳群公園管理運営費								
事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度		平成		年度		
対象	市民 農事組合法人			事業の内容説明	地元で生産された農作物等を、新沢千塚古墳群公園内の施設ふれあいの里にて販売することで、橿原市民を中心に広く周辺市民に紹介し、地産地消と地元新沢地区の活性化に寄与している。					
事業の目的	地元で作られた農作物を、地元の市民に提供する所謂、地産地消の推進を目指すと同時に、新沢地区の活性化の為、寄与する事を目的とする。									
市の関与の必要性を評価してください	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	2	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業 2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）						
			説明	新沢千塚古墳群公園内の施設「ふれあいの里」にて事業を実施しており、地元の農事組合「新沢千塚ふれあいの里」に業務委託を行っている。						
	やめた場合の影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
説明	事業開始後 1 年が経過しただけであり、まだ農事組合「新沢千塚ふれあいの里」での経営ノウハウが確立していない。よって、ここで市が完全に撤退すると、事業が頓挫する可能性は否めない。									
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	来客者数			42,349	45,000	51,855	45,000	45,000	
	活動指標②									
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			8,013	9,307	9,360	10,038		
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			2,434	1,669	1,669	1,669	
		(a) - (b) = 一般財源			5,579	7,638	7,691	8,369		
正職員		従事者数（単位：人）			2.00	0.35	0.35	0.15		
		人件費(c)			11,414	1,997	2,035	872		
トータルコスト(a) + (c)			19,427	11,304	11,395	10,910				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK 評価	有効性 評価	現時点での 成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	始まったばかりの事業である為、ハード、ソフト両面で、すべてが軌道に乗っているとは言い難い。							
	現時点での 有効性を評価してください	上位施策 への貢献 度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	地元産の食物を市民に提供することで、地産地消を促進し、地元の農業への市民意識の向上を図る。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		3	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
			説明	農産物単価の向上に係る付加価値の創造により、効率性の改善を図る余地がある。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		地元農業者の生産する農作物を広く市民に提供する事で、食物の地産地消の推進を図ると同時に、高齢化率の高い市域南西地区の活性化に寄与する可能性を秘めている。							
	修正 行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内 優先度		C	
説明			事業を軌道に乗せる為に、広く市民に周知が必要である。まずは費用は抑えつつ、啓発広報を積極的に実施する。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト (任意)) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	環境保全事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課		課長名	山田 武司		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	総合戦略の 位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の 位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	緑化推進事業費								
事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成		年度			
対象	飛鳥川堤桜並木、榑原神宮参道の森の景観を楽しむ人			事業の 内容説明	飛鳥川堤桜並木の下草刈、清掃等を実施する。また、榑原神宮参道沿いの植栽剪定や、草刈り等の取り組みを行っている参道の森環境美化協議会に交付金を交付し活動を支援する。					
事業の 目的	飛鳥川堤桜並木、榑原神宮参道の森の環境保全を図る。									
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	なぜ市が 関与して いるのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	やめた 場合の 影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
			説明 飛鳥川の桜並木、榑原神宮参道の良好な景観維持が困難になる。							
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	参道の森環境美化協議会総会出席回数			1	1	1	1	1	
	活動指標②									
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			3,119	3,144	3,143	3,144		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源			3,119	3,144	3,143	3,144		
正職員		従事者数（単位：人）			0.30	0.30	0.30	0.35		
		人件費 (c)			1,712	1,712	1,744	2,035		
トータルコスト (a) + (c)			4,831	4,856	4,887	5,179				
単位当 りコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	橿原市内において有数の観光スポットとして定着している							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	自然と歴史を守り育むシンボリックな取り組みと評価できる。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	年間の清掃等維持管理回数を必要最小限度にて算定している為、コスト低減は困難である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		市民等のボランティア精神によって、活動が維持されてきているが、取り組みの輪が広がるような行政の支援によって、活動が豊富になることが期待される。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		C	
説明			環境保全活動の効果的な展開を研究しつつ、事業を継続して取り組む。 飛鳥川堤桜並木、橿原神宮参道の森の景観を美しく保ち、市民の憩いの場とともに橿原のイメージアップにつなげる。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		ハード		事業			
事務事業名	公園施設長寿命化・バリアフリー化事業						
担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	山田 武司		
総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
	施策	7	緑豊かな憩いの場の整備				
総合戦略の位置付け	基本目標						
	基本的方向						
行革大綱の位置付け	重点項目						
	項目						
	改革名						
予算事業名	公園施設長寿命化事業						
事業の開始年度	平成	20	年度	事業の終了予定年度	平成	年度	
対象	1						
事業の目的	国からの補助である、都市公園安全・安心対策事業を利用し、市内公園内の施設の長寿命化に向けて、公園施設の整備を進める。また、公園施設のバリアフリー化を進めるとともに、地域住民が交流を深める場としてのまちづくりを推進するために、市内公園施設の長寿命化を図る。		事業の内容説明(全体計画)	公園施設長寿命化計画に基き、改善が必要となった遊具等の公園施設を、公園施設長寿命化対策支援事業の補助を得て順次、改築・更新を実施し、公園施設の長寿命化を図る。また、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を利用し、公園施設のバリアフリー化の検討を行う。			
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業					
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）					
市の関与の必要性を評価してください	説明						
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い		
指標の推移	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	31年度	
		実績	計画	実績	見込み	見込み	
成果指標							
活動指標①	改修公園数	14	6	1	15	15	
活動指標②							
コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出（直接事業費）(a)		40,307	41,748	1,581	54,141	
	歳入(b)	受益者負担額					
		受益者負担額以外の歳入（補助金等）		9,717	19,800	386	19,000
	(a) - (b) = 一般財源		30,590	21,948	1,195	35,141	
	正職員	従事者数（単位：人）		1.35	1.05	1.05	1.10
		人件費(c)		7,704	5,992	6,104	6,394
トータルコスト(a) + (c)		48,011	47,740	7,685	60,535		
単位当たりコスト	計算式等 () / ()						
備考	歳入(b)→受益者負担額について、精査の結果、平成28年度実績の数値を修正(10,000→9,717 (千円))						

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	H29年度においては公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した遊具の撤去・更新を行った。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
			説明				
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
		説明					
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内 優先度
		説明	策定された公園施設長寿命化計画に基づき、H29年度以降についても毎年度10箇所を目標として事業を実施し、公園施設の機能保全や安全性確保に支障となる劣化・損傷を未然に防止する。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ソフト（義務） ）		事業						
P L A N	事務事業名	児童公園管理事業								
	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	山田 武司				
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	児童公園管理費								
事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成		年度			
対象	公園利用者			事業の内容説明	市内248ある公園・緑地等の草刈り、樹木剪定業務、遊具の点検、修理等を実施する。また、地元自治会と公園管理協定を締結することで、日常の簡易な清掃・草引き等を地元自治会等で取り組んでいただき、市民と協働して公園の維持管理を行う。 平成30年度は市内3公園における、公園施設全体の有効活用やマーケットサウンディングによる民間活力の導入可能性を初めとした官民連携による管理運営手法・スキームの調査検討を行う。					
事業の目的	誰もが安心して遊べる公園、また災害時の避難場所としての役割を持つ公園を、地域コミュニティの場として機能させる。									
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
市の関与の必要性を評価してください	説明									
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
DO 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
	成果指標				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	活動指標①	公園管理協定締結公園数			179	182	188	188	188	
	活動指標②									
DO 実 施	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			72,926	66,748	63,660	74,717		
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源			72,926	66,748	63,660	74,717		
		正職員	従事者数（単位：人）			2.25	2.55	2.55	2.20	
			人件費(c)			12,841	14,553	14,823	12,789	
トータルコスト(a) + (c)			85,767	81,301	78,483	87,506				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK 評価	有効性 評価	現時点での 成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	効率的でバランスの取れた管理によって、住民ニーズへ効果的に対応している。							
	現時点での 有効性を評価してください	上位施策 への貢献 度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市民にとって身近な憩いの場として機能している。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	開発公園等の新設などにより、公園数は増加していることから、維持管理コストの低減は困難である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		管理手法の手順を整理し、体系化をはかることにより、効率的な管理体制が構築され、安全安心な公園を維持できる。							
	修正 行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内 優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	長期的な公園管理を計画立てることを念頭に、公園が住民に広く親しまれるよう、自治会、ボランティア団体、NPO法人等との協働による管理体制を推進し、側面的あるいは補完的支援に取り組む。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業										
P L A N	事務事業名	植山古墳公園整備事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課		課長名	山田 武司		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	植山古墳公園整備事業								
事業の開始年度	平成	15	年度	事業の終了予定年度	平成		年度			
計 画	対象									
	事業の目的	本公園は、地域住民が日常的に利用できる公園整備を行うと同時に、植山古墳の持つ学術的・文化的価値を修復・復元整備することで、観光客誘致も視野に入れた近隣公園として整備する。			事業の内容説明(全体計画)	甘樫丘から西へ派生する丘陵の先端南斜面にあり、地形を活かした公園整備を実施する。公園面積2.5haに主な施設として、芝生広場、散策広場、石の遊び場、墳丘、多目的広場等の整備を、文化財課事業と併せて行っていく。平成30年度6月に追加供用開始し、供用開始面積が15,972.12㎡になる。				
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	やめた場合の影響は	説明								
		説明	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	植山古墳公園 進捗面積 (ha)			0.81	1.41	0.81	1.60	1.60	
	活動指標②	植山古墳公園 用地買収進捗面積			10,974	10,974	10,974	10,974	10,974	
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出 (直接事業費) (a)			40,121	25,578	17,851	10,531		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入 (補助金等)			10,000	12,000	9,000	4,000	
		(a) - (b) = 一般財源			30,121	13,578	8,851	6,531		
正職員		従事者数 (単位：人)			0.95	0.85	0.85	0.75		
	人件費 (c)			5,422	4,851	4,941	4,360			
トータルコスト (a) + (c)			45,543	30,429	22,792	14,891				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	平成26年度に石室の保存方法等で文化財課の調整が長引き、全体に遅れてきているが、平成27年度は計画どおり整備を進めた。平成28年度も未供用エリア北側の園路及び、古墳南の石室前の整備を行った。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	早期の事業完了を目指し、継続して進める。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ソフト（任意） ）		事業					
P L A N 計 画	事務事業名	緑化推進啓発事業							
	担当部名	まちづくり部	担当課名	緑地景観課	課長名	山田 武司			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち					
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備					
	総合戦略の 位置付け	基本目標							
		基本的方向							
	行革大綱の 位置付け	重点項目							
		項目							
		改革名							
	予算事業名	緑化推進事業費							
事業の開始年度	平成		年度	事業の終了予定年度	平成		年度		
対象	市民、地元自治会等			事業の 内容説明	地域における緑化活動の助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花を楽しめるよう取り組む。自治会や市民の要望に応えながら、協働による緑化を推進する。				
事業の 目的	市民に対し、緑化することの大切さをアピールし、個人や地域に自発的な緑化の取り組みを促し、環境保全、緑化推進を図る。								
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	なぜ市が 関与して いるのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）						
	説明	緑化の効果は、広く地域の環境にもたらされるため、公の立場でその啓発にあたることが望ましいと考えられる。							
	やめた 場合の 影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
説明	緑豊かで低炭素なまちづくりの推進をはかる行政の姿勢が問われる懸念がある。								
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等		28年度	29年度		30年度	31年度	
				実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標								
	活動指標①	花苗、苗木、種子等配布団体数		9	10	5	10	10	
	活動指標②								
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出（直接事業費）(a)			242	178	145	173	
		歳入 (b)	受益者負担額						
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）						
		(a) - (b) = 一般財源			242	178	145	173	
正職員		従事者数（単位：人）			0.30	0.30	0.30	0.35	
		人件費 (c)			1,712	1,712	1,744	2,035	
トータルコスト (a) + (c)			1,954	1,890	1,889	2,208			
単位当 りコスト	計算式等 () / ()								
備考									

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	地道な取り組みであるため、著しい成果の向上はない。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	3	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	緑化推進の啓発によって、意識の向上をうながし、やがて地域に緑化をもたらすことが目的であるが、高い貢献度は望めない。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	自治会や市民の要望に応じて適切に対応しており、件数も少ないためコストの低減は困難である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		低予算ではあるが、自治会などの要望を積極的に聞き取ることで、市民と協働による緑化推進を行う。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		D	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	地域における緑化活動に対し積極的に助言や支援を行い、公共的な場所で緑や花が楽しめるよう取り組み、地域と行政の協働による緑化推進をはかる。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	新沢千塚古墳群公園整備事業									
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課		課長名	山田武司			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	7	緑豊かな憩いの場の整備							
	総合戦略の 位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の 位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名	新沢千塚古墳群公園整備費									
事業の開始年度	平成	25	年度	事業の終了予定年度	平成	31	年度				
対象											
事業の 目的	市民の健康増進、交流促進、環境意識の向上や観光振興に寄与するため、新沢千塚古墳群公園の公園整備や周辺施設を整備する。			事業の 内容説明 (全体計 画)	H29年度実施の主要事業 2号歩道橋整備工事、2号エレベータ棟及び立体駐車場新築工事、南群整備工事、公園追加区域設計業務委託、用地買収						
市の関与の 必要性を評 価してくだ さい	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明										
	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標										
	活動指標①										
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			384,623	416,978	151,655	225,102			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			154,207	243,760	111,862	105,700		
		(a) - (b) = 一般財源			230,416	173,218	39,793	119,402			
正職員		従事者数（単位：人）			5.00	5.00	5.00	0.90			
		人件費 (c)			28,535	28,535	29,065	5,232			
トータルコスト (a) + (c)			413,158	445,513	180,720	230,334					
単位当 りコスト	計算式等 () / ()										
備考	H28年度で都市計画決定の変更を行い、公園区域を拡大し、それに伴う公園整備が必要なため事業期間を延長した。										

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	H29年度予定事業は国費の配当率が低い関係で一部先送りした事業もあるが、配当予算内で執行可能な事業を行っている			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低いが、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	4	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	H31年度までに完成を目指す。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業										
P L A N	事務事業名	榿原運動公園整備事業								
	担当部名	まちづくり部		担当課名	緑地景観課		課長名	山田 武司		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7		快適な生活を育むまち					
		施策	7		緑豊かな憩いの場の整備					
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	都市公園事業費								
事業の開始年度	昭和	55		年度	事業の終了予定年度	平成	32		年度	
計 画	対象									
	事業の目的	榿原市における総合公園として、市民の日常的スポーツ施設とレクリエーション施設を有する公園として整備し、また、広域避難地としての防災機能を持つ公園として整備を行う。			事業の内容説明(全体計画)	榿原運動公園施設の経年劣化に伴い施設の更新が必要となっている。 <硬式野球場スコアボード更新> 平成29年度に実施 <多目的グラウンド整備>平成31年度全国中学校体育大会第50回全国中学校サッカー大会に向けた施設整備として、芝と水はけ状態の改善を行う。また、平成30年度に新たに芝生のサッカーコートを2面整備するための設計業務を行う。 <硬式野球場整備>野球場利用者のための施設を改修する。				
D O 実 施	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	市の関与の必要性を評価してください	説明								
		やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
指 標 の 推 移	指標の推移	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	31年度			
			実績	計画	実績	見込み	見込み			
	成果指標									
	活動指標①									
	活動指標②									
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)		10,655	148,000	171,300	254,441			
		歳入(b)	受益者負担額			3,000				
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）	1,207	72,000	66,214	123,000			
		(a) - (b) = 一般財源		9,448	76,000	102,086	131,441			
正職員		従事者数（単位：人）	0.30	0.70	0.70	0.75				
		人件費(c)	1,712	3,995	4,069	4,360				
トータルコスト(a) + (c)		12,367	151,995	175,369	258,801					
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考	平成29年度に大和ガス㈱より、榿原市における硬式野球場施設の利用環境の向上を目的とし、30,000,000円の寄附を受領し、榿原運動公園硬式野球場整備基金積立金を立ち上げて繰り入れ									

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	平成30年度に、多目的グラウンド整備設計業務を行い、今年度更新を予定している。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	公園施設の整備については完了しておりますが、公園施設の老朽化、市民のニーズの多様化により、既存施設の改築が望まれている。				